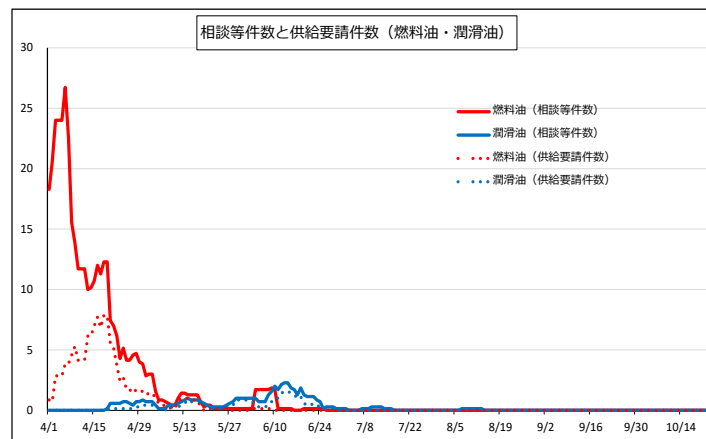
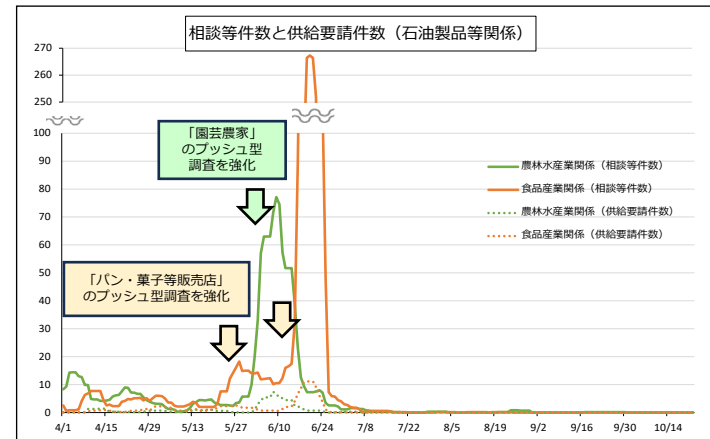


- 燃料油やナフサ由来の石油製品等に関する相談等件数は10月に入ってからごく少数で推移。
- 引き続き、主要な資材について、主要な事業者からの定期的な聞き取りを実施するなど、継続的な現場実態の把握に努める。

1. 相談件数等の推移

- 7月以降、燃料油やナフサ由来の石油製品等については、相談等件数、供給要請件数ともに少数で推移。
- 10月に入ってから新たに寄せられた相談件数はごく少数（石油製品に関する情報提供2件のみ）。
- これまでに寄せられた供給要請案件については、全件の対応を完了。

【相談等件数と供給要請件数の推移】



※ 相談等件数は、7日間移動平均の推移（件/日）（4/1 - 10/22（10/22までの件数を上記グラフに反映））
供給要請件数は、相談等件数のうち、具体的な物資について目詰まりの解消を求めるものの件数（将来の供給に関する懸念や情報提供等は含まない。）

【対応の状況】	相談等件数	4,340件
	うち供給要請件数	346件（燃料油等 75件、石油製品 271件）
	うち対応完了件数	346件

2. 実態把握の取組

- 食品産業関係の業界団体・事業者と事務局（農林水産省・経済産業省）からなる食品容器包装等情報交換会をこれまでに4回開催（次回第5回は11月6日に開催予定）。引き続き、農林水産業・食品産業で使用する主要な資材について、主だった事業者からの聞き取りを定期的実施するなど、継続的に現場実態の把握に努める。